※令和４年度以降入学生用

学校番号	3032

令和８年度 芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術１　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術Ⅰの授業では、感性や想像力を働かせて、表現したり鑑賞したりする資質や能力を相互に関連させながら各課題に取り組んで欲しい。
具体的には、各課題を通して美術作品の主な構成要素となる色と形について学習します。
同じ色や形でも、見え方や感じ方は人に依ってそれぞれ異なるので、各自の感性を大切にして創造的な表現に生かせるよう 主体的に取り組んで欲しい。
また、美術の授業における「鑑賞」は、異なる見方や感じ方をお互いに知ることで、更に視野が広がり知識も深まるので、作品制作と同等にその意義を理解して意欲的に取り組んで欲しい。

２　学習の到達目標

a:《知識・技能》に関する目標…対象や事象を捉える造形的な視点について理解し、意図に応じて表現力を創意工夫し、創造的に表する技能を修得させる。

b:《思考・判断・表現》に関する目標…造形的な良さや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考える力を持たせ、主題を生成し創造的に発想し構想を練って、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めて行く力を持たせる。

c:《主体的に学習に取り組む態度》に関する目標…美術の幅広い創造活動に主体的に取り組み、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身につけさせる等、生涯に渉って美術を愛好する心情を身につけさせる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を求めるとともに、意図に応じて表現力を創意工夫し、創造的に表現する技能を身につけている。	造形的な良さや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練って、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身につけている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
Ⅰ学期	色とトーンの研究	【色彩基礎】 ・色の三属性を学ぶ（明度･彩度･色相） ・トーン　（色調）	a:色の三属性やトーンについて関心を持ち、その特性や働きを理解しようとしている。	・観察 ・作品 等		・観察 等
		【デザイン】 『室内配色』の工夫 ・居間をモデルにしたワークシートを､自分で設定したテーマ（コンセプト）に見合った配色構成を考える。	b:ポスターカラーの特性を生かし､混色の工夫や表現方法を工夫して、目標となる色を丁寧且つ計画的に表現している。	・観察 ・作品 等	・観察 ・作品 等	・観察 等
			b:色彩の働きやトーンが与える印象を考え、設定したテーマが伝わる表現の構想を練っている。	・作品 等	・作品 等	
		・鑑賞	c:他人の作品鑑賞(振り返りシート等)を通じて､トーンや配色の理解について､積極的な姿勢を示している。			・振り返りシート　等
			c：用具道具を適性丁寧に扱える｡後片付けにも積極的に行動している			・観察 等

※令和４年度以降入学生用

夏休み課題	「高校展」鑑賞	【鑑賞】 府内の同年代の生徒達による、多分野にわたる美術・工芸作品の鑑賞を通じて、美術・工芸に対する幅広い視野と鑑賞力を高める。	a: 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 b:同年代の生徒の作品鑑賞を通じて、その良さや美しさ、作者の意図や表現の工夫を感じとり、作品への理解を深めるなど鑑賞力を高めている。 c:鑑賞(レポート等)を通じて、作品の理解について、積極的な姿勢を示している。	・鑑賞 レポート 等	・鑑賞 レポート 等	・鑑賞 レポート 等
２学期	抽象画への試み	【絵画・彫刻】【鑑賞】 『オートマティズム』 ・現代美術の手法による“描かない絵”の作成を通して、抽象表現ならではの、自由で多様な面白さを味わう。 ①アクリル絵の具とメディウムを用いて、オートマティズムの手法による様々な素材を作る。 ② ①で作成した素材の中から任意に数種類選び、ボード材の上に“自由に”構成し（貼り付け）て、作品を完成させる。 ③完成した作品に、漢字一文字で「題名」をつける ④発表（自作を語る）と鑑賞	a:オートマティズムの手法による様々な素材の作成に興味と関心を持って、且つ創意と工夫を凝らして積極的に取り組んでいる。 b:アクリル絵の具やメディウムの特性を生かし、表現方法を工夫して、丁寧且つ計画的に表現している。 b;ボード上に素材を構成する過程において、創造的で効果的な表現を試みている。 c;発表においては、制作意図や表現の工夫を明快に述べている。 鑑賞においては、他人の作品の良さや美しさなどを感じ取り、作品について理解を深めている。 ｃ；用具道具を適性丁寧に扱える。後片付けにも積極的に行動している	・観察 ・作品 等 ・観察 ・作品 等 ・観察 ・作品 等	・観察 ・作品 等 ・作品 等 ・観察	・観察 等 ・観察 等 ・振り返りシート　等 ・観察 等

※令和４年度以降入学生用

	油画制作「静物画」	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・教科書等で油彩画の作品を鑑賞し、その多様な表現方法を学ぶ。 ・「静物画」の制作 ①デッサン ②構成と構図 ③下絵 ④油彩画制作 ・鑑賞と講評	a:油彩画の作品の多様性を学びその背景にある歴史や文化への理解を深め、そのよさや美しさを味わっている。 a:対象から感じ取ったことを色や形の再現のみに留まらず、画面構成や配色に反映させている。 b:油彩画の作品、絵の具や道具に興味を持ち、自身の制作活動に取り組もうとしている。 ｂ；油彩の特性を理解し意図に応じて絵の具や用具の使い方を工夫している。 ｃ:他の生徒の作品を鑑賞し､そのよさや美しさ､作者の意図や表現の工夫を感じとり、作品への理解を深めている。 ｃ；用具道具を適性丁寧に扱える｡後片付けにも積極的に行動している	・観察 ・作品等 ・観察 ・作品等 ・観察 ・作品等 ・観察 ・作品等	・観察 ・作品等 ・作品等 ・観察	・観察等 ・観察等 ・振り返りシート　等 ・観察等

※令和４年度以降入学生用

３学期	立体オブジェ「メタモルフォーゼ」	【絵画・彫刻】【鑑賞】 インテリアオブジェ『メタモルフォーゼ』 ・作って見て飾って楽しめる立体の制作。 ①ワークシートでアイデアスケッチとストーリー展開の考察。 ②資料集め（写真資料等の収集 ③制作 ④彩色して仕上げる ⑤鑑賞と講評	a:現代美術における一表現手法である“メタモルフォーゼ”の意味を理解し、より良い主題とストーリー展開を求め、模索しながら作業を進めている。 a:課題の趣旨を理解し、創造的で効果的な表現を試みている。 b: 素材である石粉粘土の特性と道具を用いた各工程を理解し、効率よく丁寧な作業で完成度を高めている。 c:他の生徒の作品を鑑賞し、そのよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫を感じとり、作品への理解を深めている。 c:用具道具を適性丁寧に扱える。後片付けにも積極的に行動している	・観察 ・作品等 ・観察 ・作品等 ・観察 ・作品等	・観察 ・作品等 ・作品等 ・観察	・観察等 ・観察等 ・振り返りシート 等 ・観察等
	「音楽会&造形二科展」鑑賞	【鑑賞】 校内の他分野選択の作品鑑賞を通じて、芸術に対する幅広い視野と鑑賞力を高める。	a: 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 b:同年代の生徒の作品鑑賞を通じて、その良さや美しさ、作者の意図や表現の工夫を感じとり、作品への理解を深めるなど鑑賞力を高めている。 c:鑑賞(レポート等)を通じて、作品の理解について、積極的な姿勢を示している。	・鑑賞レポート等	・鑑賞レポート等	・鑑賞レポート等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度